

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>手漕ぎトロッコの改良設計・製作</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>大館市</p>
<p>研究の概要</p>	<p>観光交流拠点「秋田犬の里」敷地内にある旧小坂鉄道の廃線を利用し、誰でも楽しめるものという見地から子供連れの家族などをターゲットとし、走行中の滑落や落車などの危険性を考慮し、台車フレーム周囲には手摺りを設け、乗降口にはチェーンで安全対策をし、操縦者以外の複数人が乗車できるよう前後に木製のベンチを設置した「手漕ぎトロッコ」の製作をテーマとして取り組んだ研究の2年目として、改良と実際の運行を目指した。</p> <p>前回の試運転から、スピードが遅い（労力の割りに進まない）という観点から、市役所側の意向を反映し、操作レバーを上下させ「てこクラック機構」と連結した手漕ぎ方法とした。</p> <p>(レバーが顔面にあたるなどの危険性を考慮)</p>